

## エジプトでの現地調査（2024年12月23）報告書

### Tokkatsu 研修・認証制度（TTCS）の現状と今後の課題

尚綱大学 平野 修

Tokkatsu Training and Certification System (TTCS)とは、Tokkatsu を教員に指導する Tokkatsu Officer (TO 特活) の中から優秀な TO を研修して認証するための制度である。現在、110 人いる TO の中で、認証を受けている TO は 35 人であり、認証を受けた TO を増やすことが、エジプトの Tokkatsu の質を保证するために必要なである。

#### 1. TTCS の認証試験について

TO への評価は、参観授業での観察とフィードバック時の指導の2つの場面において、学級会及び学級指導で大切にすべき事項について、どれだけ多面的に観察し、授業者に対し指導・助言を行なっているかを評価する。評価者には、評価すべき6つの視点の書いてある評価マトリックス表が配布され、それによって5段階で評価を行う。全評価者の点数の平均合計が70点を超えると合格になり、認証される。評価項目は、次の通りである。

〈授業参観時 写真1〉

- ① TO が授業を教室のどの位置で、どんなことを観察しているか。
- ② TO が授業参観時、情報収集と記録を適切に行なっているか。

〈フィードバック時 写真2〉

- ③ フィードバック時の TO の指導・助言の内容が何項目に触れていたか。
- ④ フィードバック時の指導・助言の TO の基本姿勢
- ⑤ 授業者の授業のねらいを理解するとともに、従業者の意図を汲みながら指導・助言をしているか。
- ⑥ 授業者と信頼関係を築きながら、授業者が納得したり、自信を深めたり、意欲を獲得したりできるような指導・助言をしているか。



写真1 授業参観  
TO (左) 授業者 (右)



写真2 フィードバック  
授業者 (左) TO (右)

## 2. TTCS の認証試験の実際とワークショップ

今回の認証試験では、日本側の評価者として杉田洋（國學院大学）、天野幸輔（名古屋学院大学）、鈴木純一郎（多摩市立貝取小学校）、そして平野修（尚綱大学）の4人が参加し、エジプト側の評価者8人を含めて合計12人で評価を行なった。今回の認証試験は、本来のTOの認証という目的とは別に①初めて評価を行う評価者の見取りとすでに経験している評価者との見取りに差異があるかどうか、②評価項目の妥当性はどうか、といったワークショップとしての目的も有していた。

今回は、25人の受験者のうち1次試験を合格した9人の中から1人の認証を行なった。EJS ハダエク・オクトーバー校において中学1年生の学級指導を行った教師に対して指導・助言を与えることが、評価対象のTOに課された。評価者はTOが授業者に対して適切な指導・助言を与えることができたのかを前述した評価項目に従って採点した。

試験は、①TOが授業者に対してフィードバックを行う場面の観察、②評価者によるTOの面接、③評価者による授業の面接、の3つがセットになっている。①では、主にTOの授業を見る時の立ち位置や記録の仕方などについて評価した。②ではTOがどのような視点で授業を観察しているのか、授業中に写真等を写して記録していることの意味、フィードバックで授業者のやる気を出させるために心がけていること、指導・助言の適切性、授業者との信頼関係などについての質問をすることで、TOの指導の質を評価した。③の場面においては、授業者から見てTOの指導・助言は納得のできるものであったのか、TOからの言葉で受け入れ難い内容はなかったか、TOに対する信頼度などについての質問があり、授業者からみたTOについて聞くことで、指導・助言が授業者にとって有効なものになっているか評価した。

評価者は、この3場面で得た情報に基づいて、それぞれの評価項目に対して5段階で評価する。その後、点数を集計して全体の平均が算出された（写真3）。今回は、初めてTTCSの評価を行なった未経験者7人の平均と、以前に評価に携わった経験者5人の平均を比較することで、両者の点数に差異が見られるのかを検討した。結果として、未経験者のうち1名が他と比較して2.50と非常に低い点数をつけていたものの、全体的としては未経験者が4.12、経験者が3.97と大きな差異は見られなかった。対象のTOは、全体の合計点が79.33と高い点数を獲得したため、認証された。

	1. Position of Observation	2. Recording of Lesson	3. Variety of Feedbacks	4. Record (Memo) Usage	5. Active Listening Interaction	6. Motivation Creation	Average
First-time Evaluator 1	4	5	3	4	4	5	4.17
First-time Evaluator 2	5	5	3	5	5	4	4.50
First-time Evaluator 3	4	5	5	5	5	5	4.83
First-time Evaluator 4	4	4	4	4	4	5	4.17
First-time Evaluator 5	4	4	4	4	4	4	4.00
First-time Evaluator 6	4	5	4	5	5	5	4.67
First-time Evaluator 7	1	4	3	2	2	3	2.50
Average Grade	3.71	4.57	3.71	4.14	4.14	4.43	4.12
Average Score	74.29	91.43	74.29	82.86	82.86	88.57	82.38
Experienced Evaluator 1	4	4	4	3	3	4	3.67
Experienced Evaluator 2	3	5	4	4	3	4	3.83
Experienced Evaluator 3	4	5	5	4	5	4	4.50
Experienced Evaluator 4	5	4	3	4	3	3	3.67
Experienced Evaluator 5	5	5	4	4	4	3	4.17
Average Grade	4.20	4.60	4.00	3.80	3.60	3.60	3.97
Average Score	84.00	92.00	80.00	76.00	72.00	72.00	79.33

写真3 評価結果一覧（緑・・・新規者 黄色・・・経験者）

### 3. TO の認証試験の課題

今回、ワークショップに参加して感じた認証試験の課題点をあげる。

#### ① 認証を受けることのメリット

TTCS は、TO の質保証といった意味で優れた制度だと感じた。しかしながら、認証を受けた TO と受けていない TO の立場上の違いが明確になっていない。すなわち、TTCS を受験することのメリットが、認証を与えられたというステイタスだけにとどまっている。TO と認証 TO との立場上の違いというものを明確にしていかなないと、認証を受けようとする TO 側のモチベーションが高まらず、受験者数が減ってきて、認証制度の目的が崩れていくのではないかという危機感を覚えた。今後は、認証を受けた TO のみに与えられる指導上の権限や、処遇面での優遇性といった面も検討していく必要があるのではないか。

#### ② TTCS における評価者の質保証

TO の質を高めるには、TO を評価する評価者の能力が問われてくる。これまでは、日本人の特別活動研究者・実践者が入って評価をすることで、質の保証を行なってきた。しかし、これからはエジプト人のみで評価を行うことになる。エジプト側の評価者は、エジプトの大学の研究者や教育関係者であるが、彼らは必ずしも Tokkatsu に関する知識や実践経験があるわけではない。評価者自身の質をどう高めていくかは、大きな課題である。

#### ③ 評価マトリックスの妥当性

TTCS では、前述した通り 6 つの評価項目について 5 段階で点数化することとなっている。その項目に書かれていることがクリアできていれば、該当する点数をつけるという方法である。この方法であれば誰がやっても同じような結果になることが多く、未経験者でも評価しやすいというメリットがある。一方で、定性的な見方はできないというデメリットもある。エジプトでの評価者の質からすれば、量的評価を優先せざるを得ない現状は理解できるが、今後は定性的な評価を行うための工夫も必要となってくるのではないかと感じた。

### 4. まとめ

質の高い Tokkatsu の普及を目指す TTCS が、日本にはない優れた制度であることは間違いない。それがねらい通り機能すれば、エジプトでの Tokkatsu は広がりを見せ成長していくと確信することができた。一方、残念なことに日本においては必ずしも特別活動の指導主事が、特別活動を専門として学び実践してきた者ばかりではない。その結果、指導主事個人の力量によって指導に差が出ることは否めない。そう考えると、近い将来、均一的に高い指導力を持った TO によって、エジプト人による自立し Tokkatsu が定着し、日本がそれを学ぶ時代が来ることを予感させる TTCS 制度であった。